

# かしわの木

幼稚園通信

令和6年1月15日

## 3学期の始まりにあたり

園長 片桐 由博

穏やかな気候で新しい年が始まったと思っていたら、能登半島地震や飛行機事故によって暗く悲しい年のスタートになってしまいました。地震による被害状況が明らかになるにつれ、その甚大さに心が痛みます。この度の災害等で被災された方々には、心よりお見舞い申し上げます。

さて、一年間を締めくくる3学期が始まりました。2か月ほどの短い期間ではありますが、それぞれの学年が次の学年へ向けての準備として大切な期間となります。特に年長さんは小学生となり、幼稚園とは違った環境になることへの大きな期待と不安があると思います。幼稚園と小学校の大きな違いは、子どもたちの興味や関心を生かした遊びを通して生活してきたものが、小学校では教科書中心の学習ということになります。このギャップから「小1プロブレム」と言われるような、小学校の生活や雰囲気になかなか馴染めず落ち着かない状態が続くことがあります。そのため、小学校では生活科を中心としたスタートカリキュラムを行っています。具体的には

- ・朝の時間に園で親しんだ「手遊び歌」や「読み聞かせ」を行う。
- ・複数の教科等を組み合わせる展開する合科的・関連的な指導をする。
- ・45分の授業時間を10分～15分程度の短い時間を弾力的に活用した時間割で行う。など、各小学校で滑らかな接続を心がけています。

それに対して幼稚園では、少しでも小学校の様子を知り、お兄さん・お姉さんとの交流を年3回行っています。さらには、

- ・立ち歩くことなく20分程度椅子に座ることができる。
- ・先生の話をしつかりと聴くことができる。
- ・先生の指示に従うことができる。
- ・集団行動をとることができる。などを意識させ、安心して小学校生活を送ることが出来るよう努めていきます。

今年は「辰年」です。しかも干支としては「甲辰（きのえたつ）」で「新しいことを始めて成功する。今まで準備してきたことが形になる」という意味が込められているそうです。子どもたち、保護者の皆様、そして幼稚園にとっても何か良いことがあることを祈念いたします。本年もどうぞよろしくお願いたします。